



カキツバタ

6月10日号
2011
vol.120

福岡

遠か良

おんが
議会だより

議会新体制

.....2 P

新議会議員紹介

.....4 P

3月定例会

条例・新年度予算

.....6 P

一般質問

.....9 P

優良町村議会表彰

.....10 P



愛情たっぷり
おいしいよ

のびのびクッキング
(幼児料理教室)

体制決まる

議長就任あいさつ

このたび議員各位のご推挙により、議長の要職に就任させていただくことになりましたことは、身に余る光栄であるとともに、責務の重大さを痛感いたしているところでございます。町議会の発展と、住民福祉の向上をめざし、全身全霊を傾注して職責を全うする覚悟であります。

さて、皆さまが報道などでご承知のとおり、東日本大震災、原発事故等、この日本はまさに国難の時であります。復興に何年かかるか、また、費用が何兆円かかるのか未定であります。それに伴って、本町の交付税、補助金がどう変わるか、いずれにしても厳しい行財政運営を迫られることは確かでありましょう。

そこで議会の果たすべき役割は、住

民の血税が目的に沿い、適正に使われているか、公正公平にチェックすることです。

本町の課題として、水害などの防災対策、駅南開発、教育、福祉問題等々、すぐに取り組まねばならないこと、長いスパンで解決すべきもの、いろいろあると思いますが、議員一人ひとりが互いに知恵を出し合い、議会に与えられた審議権、議決権、調査権を駆使して議会の権能を高め、一丸となって、より良いまちづくり、強い遠賀町をめざし、誠心誠意努力してまいります。

町民の皆さまの温かいご支援ご協力、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、ご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

議長 **奥村 守**



副議長、第一・第二常任委員会委員長、議会広報調査特別委員会委員長などを歴任

委員会構成

第一常任委員会 (7人)	第二常任委員会 (7人)	議会運営委員会 (6人)
総務課、行政経営課、 税務課、議会事務局、 会計課、教育委員会の 所管に属する事項 委員長 三原 光広 副委員長 堅田 繁 委員 二村 義信 仲野新三郎 加藤陽一郎 萩尾 修身 奥村 守	住民課、福祉課、 まちづくり課、建設 課、環境課の所管に属 する事項 委員長 古野 修 副委員長 萩本 悦子 委員 浜岡 峯達 織田 隆徳 平見 光司 中野 嘉徳 舩添 清美	議会の運営・会議規 則、委員会条例、議長 の諮問に関する事項 委員長 堅田 繁 副委員長 萩本 悦子 委員 仲野新三郎 三原 光広 古野 修 舩添 清美

遠賀町議会

副議長 舩添清美



副議長就任あいさつ

町民の皆さまには、平素より町政及び町議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、東日本大震災の津波と原発事故で被害を受けられた多くの皆さまの落ち着かれた生活が早期に戻られることを、強くご祈念申し上げます。

このたびは臨時議会におきまして、議員各位のご推挙を得て、副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄でありますと同時に、議長補佐役という職責の重大さを痛感し、身が引き締まる思いであります。

今後は、従来の慣例にとらわれることなく、町民の代表として信頼される

第一・第二常任委員会
副委員長、議会広報調査
特別委員会委員長などを
歴任

議会をめざし、議長補佐という任務を果たしながら、全議員の皆さまとともに襟を正し、さまざまな課題の解決に全力で取り組んでまいります。

町民の皆さまが、住み慣れた地域の中で、安全・安心に生活できるまちづくりを実現するため、議会の権能を遺憾なく発揮していくことが、私たち議員の使命であると考えております。

さらに、開かれた議会として、新しい発想による住民の目線で住民のために、公正かつ円滑な議会運営の活性化に努め、住民福祉の向上と町政発展に全力を傾注し、町民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

議会広報調査 特別委員会

(6人)

議会広報の編集及び発行に関する調査

委員長	萩本 悦子
副委員長	平見 光司
委員	織田 隆徳
	仲野新三郎
	加藤陽一郎
	萩尾 修身

組合議会議員の選挙

福岡県中間市外二丁町 山田川水利組合議会	議員 織田 隆徳 中野 嘉徳
福岡県中間地域広域行 政事務組合議会	議員 浅木生産組合長 瓜生 稔
福岡県介護保険 広域連合議会	議員 舩添 清美 萩本 悦子 仲野新三郎
	議員 奥村 守

選任同意

監査委員

中野 嘉徳

新 議会 議員の 紹介

※（ ）内は議席番
号、議長・副議長
以下は議席番号順
で掲載



議員 (十四番)
奥村 守

昭和14年9月20日生 71歳

住所 松の本二丁目15番2号
職業等 会社役員
委員会 第一常任委員会
当選6回



議員 (十三番)
舩添 清美

昭和25年9月24日生 60歳

住所 若松2352番地
職業等 自営業
委員会 第二常任委員会、議会運営委員会
当選3回



議員 (一番)
浜岡 峯達

昭和15年1月13日生 71歳

住所 遠賀川三丁目7番23号
職業等 無職
委員会 第二常任委員会
当選4回



議員 (二番)
萩本 悦子

昭和30年3月21日生 56歳

住所 広渡一丁目11番1号
職業等 無職
委員会 第二常任委員会、議会運営委員会、
広報調査特別委員会
当選2回



議員 (三番)
織田 隆徳

昭和25年11月23日生 60歳

住所 広渡2042番地
職業等 無職
委員会 第二常任委員会、
広報調査特別委員会
当選1回



議員 (四番)
二村 義信

昭和20年8月4日生 65歳

住所 鬼津1904番地
職業等 農業
委員会 第一常任委員会
当選5回



議員 (五番) 中野 新三郎
昭和47年7月25日生 38歳

住所 遠賀川二丁目6番14号
職業等 自営業
委員会 第一常任委員会、議会運営委員会、
広報調査特別委員会
当選2回



議員 (六番) 平見 光司
昭和23年7月18日生 62歳

住所 広渡一丁目22番7号
職業等 自営業
委員会 第二常任委員会、
広報調査特別委員会
当選3回



議員 (七番) 加藤 陽一郎
昭和26年4月12日生 60歳

住所 今古賀295番地
職業等 農業
委員会 第一常任委員会、
広報調査特別委員会
当選1回



議員 (八番) 中野 嘉徳
昭和22年8月18日生 63歳

住所 老良64番地
職業等 無職
委員会 第二常任委員会
当選1回



議員 (九番) 萩尾 修身
昭和26年2月20日生 60歳

住所 遠賀川一丁目5番6号
職業等 自営業
委員会 第一常任委員会、
広報調査特別委員会
当選1回



議員 (十番) 三原 光広
昭和45年2月13日生 41歳

住所 鬼津3464番地
職業等 会社役員
委員会 第一常任委員会、議会運営委員会
当選3回



議員 (十一番) 古野 修
昭和44年3月14日生 42歳

住所 虫生津295番地
職業等 農業
委員会 第二常任委員会、議会運営委員会
当選2回



議員 (十二番) 堅田 繁
昭和40年7月3日生 45歳

住所 別府3212番地
職業等 無職
委員会 第一常任委員会、議会運営委員会
当選3回

3月 定例会

3月定例会は、3月3日に開会し、3月18日までの16日間の会期で開催されました。議案として、町長提出の補正予算の専決処分の報告、条例の一部改正や補正予算、新年度予算など26件、議会提出の決議案1件が上程され、慎重審議が行われました。



平成23年度一般・特別会計、骨格予算決定

平成23年度骨格予算

会計名		金額
一般会計		60億5,054万円
特別会計	国民健康保険事業	21億8,535万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,163万円
	遠賀霊園事業	4,350万円
	学校給食事業	1億4,047万円
	地域下水道事業	1億364万円
	農業集落排水事業	8,972万円
	公共下水道事業	5億8,670万円
	土地取得	30万円
後期高齢者医療	2億1,260万円	

(万円未満切捨て)

議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、平成23年度一般会計予算の審議を行いました。平成23年度当初予算については、木村前町長のご逝去による町長の交代、新執行部体制の確立、また、統一地方選挙の年であり、経常経費及び継続事業経費を主として、慎重審議の結果、賛成多数で可決しました。

た骨格予算として計上されました。骨格予算とはいえ、平成22年度の当初予算(約58億)と比較して3.9%増額の約60億5千万円となっており、各委員が真剣に質疑やチェックを行い、慎重審議の結果、賛成多数で可決しました。

平成22年度一般・特別会計、補正予算可決

平成22年度補正予算

会計名		予算総額	補正額
一般会計		60億758万円	1億5,110万円
特別会計	国民健康保険事業	21億3,700万円	▲636万円
	住宅新築資金等貸付事業	1,771万円	92万円
	遠賀霊園事業	5,449万円	▲20万円
	学校給食事業	1億3,786万円	▲237万円
	地域下水道事業	1億2,257万円	▲673万円
	農業集落排水事業	8,566万円	▲26万円
	公共下水道事業	5億4,571万円	▲377万円
	土地取得	26万円	▲19万円
後期高齢者医療	2億3,470万円	956万円	

(万円未満切捨て)

平成22年度一般会計ほか9特別会計の補正予算については、人事院勧告実施に伴う人件費等の減額、事務事業の整理確定に伴う予算や地域活性化交付金事業予算の調整によるものです。

慎重審議の結果、賛成多数で可決しました。

こんな質問がありました！

予算特別委員会審査

Q 戸籍住民基本台帳カード(住基カード)の発行枚数は。

A 現在発行総数は591枚だが、転出、死亡などによる失効分を差し引くと、有効枚数は495枚である。



Q 子宮頸ガンワクチンは現在供給不足ということだが、対応は。

A 7月には十分な供給が予定されている。

Q 最近の災害は想定外と言われるものが多い。水害、地震、津波では対処の方法が異なる。防災計画の見直しは。

A 救援物資がなかなか届かないという事態も想定して、役場横の備蓄倉庫だけではなく、学校等にも物資を備蓄することも必要となってくる。防災について、しっかりと立て直しを図る。

Q 子ども手当の財源は。

A 国から3億420万円、県から3969万9000円、町の負担分が3970万2000円である。

Q 子ども手当支給対象者数は。

A ゼロ歳児から3歳未満児までの対象者を458人、3歳から小学校終了前の対象者を1370人と見込んでいます。

Q 子ども手当から保育料、給食費を差し引いて支給する考えは。

A 現在、保育料の徴収率は約98%であり、自主的に納付される方が多い状況である。滞納者については、子ども手当の中から本人の同意を得て徴収させていただいている。この状況を見定めながら、方向性を決めていきたい。給食費についても同様である。

Q 農産物ブランド化推進事業委託料1437万円の事業の内容は。

A 町内で生産された「れんげ菜の花米」に付加価値をつけて、いかにして売るかということを検討している。また、菜の花の種から油を作ることなども予定している。

特別会計予算審査

Q 公共下水道接続後の地域下水道の浄化槽跡地利用についての考えは。

A 例えば、跡地を真砂土で盛って公園として利用していくとか、地域によっては公民館の駐車場として使っていくとか、基本的に地域の要望を聞いて、地域で使い方を検討していただく。

Q 給食センターの施設点検及び整備については。

A 施設ごとに管理業者に委託して点検している。昭和52年に開設した施設なので老朽化が激しく、器具については修繕、買替えを計画に行ってきた。

給食センター

給食センターの建替えについてはスペースや工事期間の問題も出てくる。十分に検討しながら考えていきたい。



▲定期的に点検整備が行われている給食センター

条例

● 附属機関の設置に関する条例の一部改正

● 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(全員一致可決)

町営住宅長寿命化計画の策定に伴い、公営住宅等長寿命化計画策定委員会を設置していたが、計画の策定完了に伴い両条例を一部改正するもの

● 総合計画審議会条例の一部改正

(全員一致可決)

第5次総合計画の策定に伴い、現在の総合計画審議会の委員総数及び構成を改正するもの

● 町営住宅管理条例の一部改正

● 改良住宅設置及び管理条例の一部改正

● 改良住宅用地内自動車駐車場使用料

条例の一部改正
(全員一致可決)

暴力団排除条例の制定に伴い、町の施設からのさらなる暴力団を排除するため、3条例に暴力団排除規定を追加するもの

決議

● 東北地方太平洋沖地震の救援に関する決議

(全員一致可決)

(抜粋)

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、東北地方を始めとする東日本の広い範囲に激甚な被害をもたらした。多くの尊い人命と、住宅などの貴重な財産が失われ、交通・通信網などのライフラインも崩壊した。また、福島県の子力発電所においても、その施設が甚大な被害を受け、周辺住民は避難を余儀なくされている。被害に遭った住民の不安と悲しみ、身体的状況は極限にまで達しており、早急な被災者救援及び被災地復旧の支援が強く求められている。

ここに、遠賀町議会は、犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、被災者に心よりお見舞い申し上げます。それとともに、被災者及び被災地への支援に全力で取り組み、関係各方面からの義援金ならびに不足している食料品や日用品など広範な支援を願うものである。また、政府に対し、人命救助に全力を挙げつつ、被災者救援及び被災地復旧に、特別立法での対応も含め、早急かつ積極的な措置を取ることを強く要請する。

以上、決議する。



▲遠賀町からの支援物資

補正予算

● 東北地方太平洋沖地震被災者義援金

500万円

(全員一致可決)

契約

● 遠賀川駅自由通路線設置に伴う

平成23年度実施協定の締結

(全員一致可決)

主なもの

平成22年度繰越工事分について1億400万円で九州旅客鉄道株式会社と協定を締結する。主な内容は、自由通路の北側橋脚工事、北側階段基礎工事、及び北側エレベーター基礎工事。

4月臨時会

東日本大震災の被災地への支援

● 町からの物資

新生児・育児用粉ミルクスティック	800本
アルファ米、白米他	1,325袋
缶入りパン	624缶

● 町民の皆さまからの義援金募金の状況 (平成23年4月21日現在)

遠賀町日赤募金額	2,686,460円
社会福祉協議会募金額	1,010,262円

● 町からの義援金

5,000,000円
(平成23年4月5日議決)

● 議員からの義援金

200,000円



かた だ しげる
堅田 繁 議員

Q

小学6年まで医療費を無料にするべきだ

A

入院費の無料を、10月1日あるいは24年の4月1日から実施したい



すくすく育ってね

乳幼児医療費の充実

議員 子育て支援政策として、乳幼児医療費の助成対象を小学6年まで拡大する考えはないか。

町長 現在は小学校就学前までだが、子育て世代の経済的負担を軽減する目的で入院にかかる医療費を小学6年生まで対象に拡充する。

実施時期は、できるだけ早くしたいが、医療証の発行準備とシステム改修準備のため、早くして10月1日あるいは平成24年4月1日の開始としたい。

議員 大歓迎だ。わたしは一貫して入・通院の無料化を主張してきた。通院費まで今回拡

充てななかったのは、財源が確保できなかったためか。

町長 それもあるが、長期的な視点で制度の安定性を継続的に図る意味で、まず入院費から実施する。

議員 子育て世代を支援する気持ちは十分に伝わった。これからも、その背中をやさしく押してあげる政策をめぐしてほしい。

コミュニティバスの路線維持確保を

議員 新規の県単独補助事業の活用や広域圏の連携をはかる考えはないか。

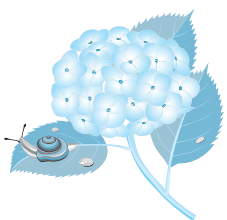
町長 県の補助事業は歳入重視の観点から、活用したい。近い将来、芦屋タウンバス、岡垣

コミュニティバスとの共同運行ができればいいと考えている。これから、十分な議論が必要だ。

住宅リフォーム助成制度の導入を

議員 対経済効果が抜群と評判の住宅リフォーム助成制度を導入する考えはないか。

町長 経済対策の一環として、町内に所有する住宅にすむ住民がリフォームする場合、町内の事業者が施工する改修工事に対して上限を10万円として助成をするものだが、今後研究をさせていただく。



遠賀町議会が

優良町村議会表彰されました

平成23年2月24日、地方自治の本旨にそって議会運営の向上に努めもって住民福祉を増進した功績で、遠賀町議会が福岡県町村議会議長会より表彰されました。

また、以下の自治功労者表彰についても3月定例会で表彰状の伝達を行いました。



●全国町村議会議長会自治功労者表彰

議会議員15年以上 濱之上 喜郎
" 二村 義信

●福岡県町村議会議長会自治功労者特別表彰

議会議員23年以上 石松 守

●福岡県町村議会議長会自治功労者表彰

議会議員15年以上 濱之上 喜郎
" 二村 義信

●遠賀町功労表彰

議会議員12年以上 浜岡 峯達

がんばります！

広報調査特別委員会

◆議会が町民の皆さんにより近くなるよう、「議会だより」を活用して努めます。
織田 隆徳

◆開かれた議会を目指して、わかりやすい議会だよりをつくっていきます。
仲野 新三郎

◆広報活動を通じて、議会と町民の皆さんとの距離を縮めるよう努力します。
加藤 陽一郎

◆作る側とは別の一人の読者として、読みやすさ、わかりやすさを心がけていきます。
萩尾 修身

◆町民の皆さんにわかりやすく、見やすい紙面づくりがんばります。
平見 光司

◆日本一の議会だよりを目指します。
萩本 悦子



左から加藤委員、仲野委員、平見副委員長、萩本委員長、織田委員、萩尾委員

編集後記

議会改選後、新しい布陣で臨んだ「遠賀議会だより120号」はいかがでしょう。

議会の活性化が叫ばれている現在、私たち広報調査特別委員会の果たす役割は、大変重要です。

「今、議会で行われていること」を町民の皆さんにわかりやすくお知らせし、議会に目を向けていただき、関心をもっていたくことが、議会活性化の第一歩と考えています。

今回の紙面は、6人の委員が決まってきたから、初稿入稿まで17日と実に厳しいスケジュールの中で、正直、私たち新委員のカラーを出すには至っていませんが、まずは、文字を大きくしてみました。今後は、先輩委員が引かれたレールを基本としながらも私たちなりの味付けをし、「手にとってもらえる議会だより」そして「一緒に考える議会だより」を目指します。

どうぞ、ご期待ください。

萩本 悦子

発行責任者 議長 奥村 守